

東北生産性本部

第150回理事会開催



5月12日（木）15時より、仙台商工会議所4階会議室に於いて、理事19名、監事2名の出席を得て第150回理事会を開催いたしました。冒頭、青木会長より新理事2名（ユアテックユニオン本部執行委員長齋藤研一、東北発電工業労働組合執行委員長仁田敏広）を委嘱し、平成22年度事業報告、平成22年度収支決算、平成23年度事業計画（案）、平成23年度収支予算（案）、役員改選（案）について、復興支援事業と事務費に関する事項の質疑を行い、全員一致で原案通り確認されました。

今後の予定は、次の通りでありますので、賛助会員の皆さまを始めとして多数のご出席をお願い致します。

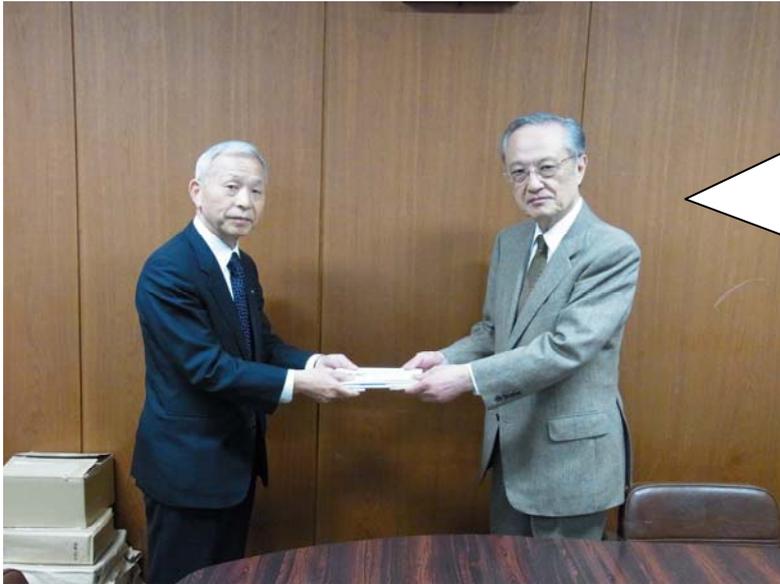
1. 第54回通常会員総会

- ・とき 平成23年5月27日（金）13時半より
- ・ところ 仙台商工会議所7階大会議室

2. 特別講演

- ・通常会員総会終了後、1時間半程度、16時終了予定です。
- ・テーマ『東日本大震災、救援・復旧から日本経済復興の道筋』
- ・講師 埼玉大学大学院客員教授 水野和夫 氏

（元三菱UFJモルガンスタンレー証券チーフエコノミスト）



4月19日、日本生産性本部の関理事が当本部を訪れ、日本生産性本部、北海道生産性本部、中部生産性本部、関西生産性本部、中国生産性本部、四国生産性本部、九州生産性本部からの見舞金を青木会長へ贈呈する。

人も地域も企業も元気に

東北生産性本部 震災復興支援事業

がんばろう 東北

当本部として、震災復興に少しでもお役に立てるよう、5月27日特別講演会、6月16日第34回仙台ジウム6月拡大例会、7月20日復興支援労使セミナー・イン・福島（調整中）、10月12日or14日復興支援ポジウム（調整中）の四事業を中心として取り組んで参りますので、皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

第一義 ～原子力事故に思う～

3月11日を境として、東北地方と電気事業は一変したように思う。今回の津波は千年に一度の規模という、貴重な教訓を子子孫孫にどう生かすべきか、全ての大人の責任である。不安が続いているのは、福島で起きている原子力事故である。ノーベル化学賞を受賞した野依教授の言葉が印象的であった。科学と技術は異なる。科学は真理追究、技術は光と影があり、原子力は技術の問題。これまでは光の部分である安全神話が先行し、影の部分である危険要素の論議が不足していなかったか、原子力を語る時に経済至上主義やイデオロギーに立脚した両極端な論議が本質論議の妨げとならなかったか、国策民営という責任不在が盲点にならなかったか、原子力は畏敬の念を持って接してきたか、様々問われている。そして政府の一連の対応を見る時、意思決定にもあるように思う。議院内閣制をとっている現在の政治体制の中で、一連の決定は大統領制のように思える。造るときは後ろにいて、止める時は前に出る。人気取りよりコンセンサスではないか。エネルギー政策は国の根幹である。（記S・S）